

Up&Coming Artists Series



©Takafumi Ueno

古海行子 (ピアノ)

Furumi Yasuko, piano

2022年第12回ダブリン国際ピアノコンクール第2位を受賞、2021年第18回ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。
2018年第4回高松国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝。併せて委嘱作品演奏者賞、香川県知事賞、高松市長賞、公益財団法人松平公益会賞、公益財団法人高松市文化芸術財団理事長賞を受賞。
2019年第11回パデレフスキ国際ピアノコンクール第3位。
日本はもとより、イタリア、ポーランド、アメリカなど数多くのコンサートに出演。また日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団をはじめ、オーケストラとも数多く共演。
日本コロムビアのOpus Oneレーベルより「シューマン：ピアノ・ソナタ第3番」でCDデビュー。2020、21年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。昭和音楽大学大学院修了。同附属ピアノアートアカデミー在籍。江口文子氏に師事。

PROGRAM

バッハ：イタリア協奏曲 BWV971
シューマン：謝肉祭 Op.9
リスト：愛の夢 第3番
ピアノ・ソナタ ロ短調 S.178



上野 通明 (チェロ)

Ueno Michiaki, cello

2021年ジュネーブ国際音楽コンクール・チェロ部門日本人初の優勝、あわせて三つの特別賞も受賞し話題となる。
13歳で若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール日本人初の優勝、ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位、ルーマニア大使館賞、ルーマニアラジオ文化局賞をあわせて受賞、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、ヴィルト・ルトスワフスキ国際チェロコンクール第2位と、国際舞台で次々と活躍する。これまでに、ソリストとしてワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、ロシア交響楽団、スイス・ロマンディ管弦楽団、KBS交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など、国内外の主要オーケストラと共演。ジャン＝ギャン・ケラス、ダニエル・ゼベックらの著名な海外アーティストとも多数共演し好評を博す。岩谷時子賞奨励賞、青山音楽賞新人賞、出光音楽賞を受賞。文化庁長官国際芸術部門表彰を受賞。
桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース全額免除特待生として毛利伯郎に師事し、オランダの名チェリスト、ピーター・ウィスベルウェイに招かれ19歳で渡独。現在エリザベート王妃音楽院にてゲーリー・ホフマンにも師事。主にヨーロッパと日本で積極的に演奏活動を行っている。使用楽器は1758年製P.A.Testore (宗次コレクション)、弓は匿名のコレクターよりF.Tourteをそれぞれ貸与されている。

PROGRAM

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調 BWV1009
レーガー：無伴奏チェロ組曲第2番 ニ短調 Op.131c-2
ダッラーバコ：11の奇想曲より第11番 ヘ長調
ブリテン：無伴奏チェロ組曲第3番 Op.87



村田夏帆 (ヴァイオリン)

Murata Natsuho, violin

茨城県生まれ。3歳でヴァイオリンを始める。11歳で東京交響楽団と共演し、ソリストとして初めて舞台に立つ。以後、国内外の多数のフェスティバルや記念コンサートに招待され、セレモニーで演奏。国内外のソロリサイタルやコンサートに出演。東京交響楽団、スピヴェアコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ室内管弦楽団、モンテリオール交響楽団、ペテルブルグ交響楽団、チェスボル指揮韓国室内管弦楽団など、国内外のオーケストラと共演。第71回全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門小学校の部東京大会第1位、同全国大会第1位、イル・ピッコロ・ヴィオリノ・マジコ国際コンクール (イタリア) 最年少第1位、若い音楽家のための国際クラシック音楽コンクール「シェルクンチク (くるみ割り人形)」(モスクワ) 金のシェルクンチク賞 (第1位)、ティボール・ジュニア・国際ヴァイオリンコンクール (スイス) 最年少第1位など、国内外のコンクールで優勝多数。これまでに、川又くみこ、原田幸一郎、ザハール・ブロン、神尾真由子の各氏に師事。

大須賀恵里 (ピアノ)

Osuka Eri, piano

桐朋学園大学音楽学部卒業。藤科高原音楽祭賞を受賞。国内外の著名演奏家と数多く共演する他、R.パスキエ、J-Pヴァレーズ、W.マシュナー、D.ゲーデ、G.プーレ、S.ルセフなど著名ヴァイオリニストのマスタークラスのピアニストを務め、室内楽ピアニストとして第一線で活躍。95年に始めた「大須賀恵里ピアノ室内楽演奏会」は好評を博し、2005年公演はCD発売された。桐朋学園大学音楽学部弦楽科嘱託演奏員、国立音楽大学声楽科伴奏手歴任。10年夏より信州クワイツェル音楽村を主宰。11年元ウィーンフィルコンサートマスター ダニエル・ゲーデとモーツァルトソナタ、15年上原正敏 (Ten) と、おとなのための童謡曲集「赤い靴」CDをリリース。13年~15年 Andiamo (共に歩もう!) の意味) 大須賀恵里ピアノ室内楽演奏会全3回シリーズを開催し、いずれも音楽専門誌上で最大級の評価と大きな反響を呼び、16年九州筑豊、水戸佐川文庫、17年東京浜離宮朝日ホールにて 若手演奏家支援を内容の軸とした「Andiamo Part 2」シリーズ開始。20年秋より川口リリア催し広場にて「リリアの室内楽」をプロデュース。17年1月より5年間FM 川口 E-friends~世界に羽ばたく音楽家たち~ラジオのパーソナリティを務めた。
オフィシャルサイト <https://eriosuka.com>

PROGRAM

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 Op.108
サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ Op.28 ほか



©武藤 章